

大東大須賀区域認定こども園化の
あり方について（提言）
素案

平成 28 年 月

大東大須賀区域認定こども園化推進委員会

目 次

- 1 大東大須賀区域認定こども園化推進委員会の目的
- 2 推進委員会の構成
- 3 社会情勢と検討の経緯
- 4 大東・大須賀区域の現状と課題
 - (1) 大東区域
 - (2) 大須賀区域
- 5 協議事項と検討結果
 - (1) 教育・保育の理念について
 - (2) 施設再編について
 - (3) 整備場所、整備順について
 - (4) 園運営について
 - (5) 認定こども園化に向けての取り組みについて
- 6 大東大須賀区域認定こども園化のあり方について

参考資料

- 1 過去の検討の経緯
 - 大東町、大須賀町における検討
 - 南部地区乳幼児教育検討委員会（平成 21～22 年度）
 - 乳幼児教育振興計画策定委員会（平成 23 年度）
 - 子ども・子育て会議（平成 25～26 年度）
- 2 委員名簿
- 3 推進委員会開催の経緯

1 大東大須賀区域認定こども園化推進委員会の目的

本市南部にある大東区域、大須賀区域には、公立幼稚園8園と私立保育園5園があり、子どもたちの教育・保育を担っている。

近年、子どもの育ち、子育てをめぐる社会情勢や保護者の価値観が大きく変化していることから、当該地域においても、将来を見通し、より望ましい乳幼児教育・保育のあり方を検討する必要がある。

そこで、本委員会を設置し、多方面の視点から大東大須賀区域の幼稚園保育園の再編、認定こども園整備に関して協議検討を行った。

2 推進委員会の構成

委員は、子どもの保護者、自治区関係者、市議会議員、保育事業に従事する者、学識経験者、学校関係者、計20名で組織した。詳細については委員会名簿参照。

委員会の庶務は、掛川市こども希望部こども政策課において処理した。

3 社会情勢と検討の経緯

(1) 子ども・子育て支援新制度

平成24年8月に成立した「子ども・子育て支援法」等子ども・子育て関連3法に基づき、平成27年4月から、新たな子育て支援制度が開始された。

子ども・子育て支援新制度においては、幼稚園と保育所のいいところを1つにした認定こども園の普及、待機児童の減少、地域のさまざまな子育て支援事業の充実などが図られる。

(2) 掛川区域の幼保一元化

掛川区域では、平成15年の乳幼児センターすこやかの開園をはじめとして、幼保一元化に取り組み、平成21年までに6園の幼保園が整備されている。

各幼保園は、運営法人の母体により、運営内容、保育内容、園行事等が異なっているが、幼保園共通の理念である「感性豊かで生きる力をそなえた子供に育てるために、人間形成の基礎を培うきわめて重要な時期である乳幼児期の保育・教育を、就学前教育として一元的にとらえ、どの子にも一人一人の発達に即した保育を行う。」ことはどの園でも概ね達成されている。

(3) 推進委員会での検討

推進委員会は平成27年11月9日に設置され、計 回の委員会を開催した。

また、幼稚園保育園保護者の意見を聞くためのワークショップを1回、推進委員による小規模幼稚園と大規模幼保園の現地視察を1回開催した。

4 大東・大須賀区域の現状と課題

(1) 大東区域

①幼稚園

- ・幼稚園は6園あり、すべて公立園である。
- ・睦浜幼稚園は、大坂幼稚園の大規模化に伴い、昭和57年に分離独立した幼稚園である。
- ・睦浜幼稚園以外の5幼稚園は、小学校と近接している。
- ・佐束幼稚園や土方幼稚園は、幼保園化が進んだ掛川区域の公立幼稚園の受け皿となっている。
- ・小規模化が進んでおり、ほとんどの園が全歳児単学級ある。小規模園は、一人一人の園児に目が行き届き、きめ細やかな温かい指導ができる良さがある一方、人の姿を見て多くのことを学んだりする機会や園児が切磋琢磨する機会が少ないなどの課題が指摘されている。
- ・昭和48年度建設の千浜幼稚園をはじめ、すべての園で建設から30年以上が経過しており、老朽化が顕著である。

各園の状況

大浜地区

	大坂幼稚園	睦浜幼稚園	千浜幼稚園
定員	160	90	160
平成28年度園児数	67	44	40
平成27年度	61	45	39
平成26年度	76	42	49
平成25年度	74	40	57
平成24年度	82	43	55
平成18年度	66	70	69
平成28年度職員数	9	8	7
建設年度	昭和50年度	昭和56年度	昭和48年度

城東地区

	土方幼稚園	佐束幼稚園	中幼稚園
定員	90	90	90
平成28年度園児数	60	64	35
平成27年度	65	54	31
平成26年度	62	69	39
平成25年度	55	71	43
平成24年度	57	78	38
平成18年度	52	73	34
平成28年度職員数	7	8	8
建設年度	昭和52年度	昭和60年度	昭和59年度

②保育園

- ・保育園は3園ある。大坂保育園と千浜保育園については公立保育園であったが、平成13年度に大東町において民営化を実施したため、現在はすべて私立保育園になっている。
- ・大坂保育園、千浜保育園は小学校と近接している。
- ・大坂保育園と大坂幼稚園、千浜保育園と千浜幼稚園は近接している。
- ・少子化により子どもの数は減少してきているが、保育ニーズは高まっており、定員を超えて受け入れをしている園もある。
- ・昭和50年度建設の大坂保育園をはじめ、すべての園で建設から30年以上が経過しており、老朽化が顕著である。

各園の状況

	城東保育園	大坂保育園	千浜保育園
定員	90	150	70
平成28年度園児数	102	146	74
平成27年度	106	153	66
平成26年度	99	134	71
平成25年度	105	138	67
平成24年度	105	133	63
平成18年度	100	141	74
平成28年度職員数			
建設年度	昭和52年度	昭和50年度	昭和51年度

(2) 大須賀区域

①幼稚園

- ・幼稚園は2園あり、いずれも公立園である。
- ・いずれの園も小学校と近接していない。
- ・園児数は定員を下回っているが、大東区域ほど小規模化は顕著ではない。大淵幼稚園は全歳児単学級である。
- ・いずれもの園も建設から30年以上が経過しており、老朽化が顕著である。
- ・横須賀幼稚園については、津波被害の懸念から高台移転の要望が出されている。

②保育園

- ・保育園は2園ある。よこすか保育園については公立保育園であったが、平成14年度に大須賀町において民営化を実施したため、現在はすべて私立保育園になっている。
- ・いずれの園も小学校、幼稚園と近接していない。
- ・少子化により子どもの数は減少してきているが、保育ニーズは高まっており、定員を超えて受け入れする場合もある。
- ・横須賀地区在住で、おおぶち保育園に通っている子どもが30名程度いる。

- ・よこすか保育園は昭和56年度建設であり、老朽化が顕著である。おおぶち保育園は平成17年度の建設であり、将来的な幼保一元化に対応できるように幼稚園児用の教室が整備されている。

各園の状況

	横須賀幼稚園	大淵幼稚園	よこすか保育園	おおぶち保育園
定員	160	90	90	120
平成28年度 園児数	95	57	88	99
平成27年度	97	52	92	96
平成26年度	115	58	86	94
平成25年度	123	65	92	97
平成24年度	122	56	86	95
平成18年度	139	62	87	99
平成28年度 職員数	13	11		
建設年度	昭和54年度	昭和52年度	昭和56年度	平成17年度

5 協議事項と検討結果（作成中）

（1）教育・保育の理念について

大東大須賀区域認定こども園化の理念、めざす姿についての検討結果

（2）施設再編について

再編後の施設数などについての検討結果

（3）整備場所、整備順について

整備場所、整備順などについての検討結果

（4）園運営について

適正規模や適正な敷地面積、子育て支援センター、障がい児保育・外国人保育、運営法人、地域との連携などについての検討結果

（5）認定こども園化に向けての取り組みについて

保護者への理解促進や園児・保育者の交流などの検討結果について

6 大東大須賀区域認定こども園化のあり方について（作成中）

大東大須賀区域認定こども園化の提言